

柳津小学校だより

鳴神山



2018, 10, 23 No, 14
柳津町立
柳津小学校長



柳小秋祭りに向けて！

いよいよ今週末の27日（土）は柳小秋祭りです。現在、全校児童と教職員が一体となって「やる気」「元気」「本気」で、全力で練習や準備に取り組んでいます。第一部では、学年発表で「カッコイイ」姿を見せようと、どの学年も精一杯、練習に取り組んでいます。第二部では、6年生が中心となって、調理などの役割の確認を行っています。お忙しい中だとは思いますが、ぜひ児童の活躍をご覧いただければと思います。よろしくお願いいたします。



秋の遠足 in 猪苗代！

5日（金）は、1年生から4年生までの遠足でした。今年度は『猪苗代方面』に出かけ、「野口英世記念館」「アクアマリンいなわしろカワセミ水族館」「南が丘牧場」の見学コースです。4年生のリーダーシップの下、どの班も意欲的に、ルールを守り、見学学習を行うことができました。みんなで食べるお弁当もとてもおいしそうでした。子どもたちの笑顔があふれた1日となりました。



ファミリーシアターを実施しました！

10月4日（木）に柳津町の主催で、柳津小、西山小、会津柳津学園中の3校の児童生徒と一般町民の方々を対象にファミリーシアター「演劇公演」を実施しました。今年は「劇団エンゼル」さんの「はじめに見えたもの」という演劇でした。なかなか見ることができない生の演劇に子どもたちは大変喜んでいました。子どもたちの感性や想像力を磨くことができたとと思います。町当局に感謝いたします。



全校朝の会 校長の話より！

今、様々な調査で、日本の若者の自己肯定感は低いという結果が出ています。日本は、国際比較をしても、数学や理科の学力は世界でも上位になっていますが、学んだことを社会で生かすための土台になる「自己肯定感」は世界の中でも下位の方だということです。

自己肯定感とは、「自分は生きる価値がある、誰かに必要とされている」という、自らの価値や存在意義を肯定できる感情のことをいいます。前向きな感情ともいえます。まずは、自分を大切にしたいと考え、全校朝の会で次のような話をしました。

おはようございます。みなさん柳小のテーマは知っていますか。「やる気」「元気」「本気」大好きカッコイイ柳津小です。今日はその中の「大好き」の話をします。みなさんはありがとうって言いたい人はいますか？たくさんの人にありがとうって多分言いたいと思います。今日は「ありがとうのメッセージ」の3年生の作品を紹介します。

「ぼくへ」

ありがとうと言いたい人、それはぼく。いつも元気いっぱいいてくれてありがとう。おかげで大好きな外遊びがたくさんできるよ。友だちと外で思いっきり遊ぶと、とっても楽しいし、なんだかやる気ももりもりわいてくるんだ。友だちとももっともつとなかよくなれてうれしいし、これも元気なぼくのおかげだね。いつもありがとう。

声大きいぼく、ありがとう。大きな声だとみんな注目してくれるし、話をちゃんと聞いてもらえるよ。それに、大きな声であいさつすると、何だかうんと元気になれるんだ。大きな声のぼく、いつもありがとう。

スポーツがんばりやのぼく、ありがとう。スポーツのことならどんなことでもがんばれるよ。一年生になる前はなわとびがうまくとべなかったけど、毎日練習していたら、はやぶさやかけ足二重とびもできるようになったよね。毎日がとても楽しいのは、そんなぼくがいるから。ぼく、これからもよろしくね。

いろいろな人にありがとうっていいと思います。まずは自分にありがとうって言える、自分を大切にできる、自分を大好きでいれる、自分に自信をもてる、そんなみなさんでいてくれたらうれしいです。だってみなさんは一人ひとりとってもよいところがたくさんあって輝いているからです。これで校長先生のお話を終わります。

柳小の子どもたちが、自分のことを大切に、大好きになり、自分自身に自信が持てるようにしていきたいと強く思います。